

中小企業あきた

- 1 「**団結は力 見せよう組合の底力!**」…………… 1
～第68回中小企業団体全国大会が盛大に開催～
2 全12団体が「**市立秋田総合病院改築工事**」
に係る**要望書を提出**…………… 3

11
NOVEMBER.2016

○景況レポート9月分 …………… 4

- 話題の広場
中央会事業より…………… 6
アラカルト…………… 8
支援団体活動レポート…………… 8
インフォメーション…………… 10



TOPICS **1**
トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

「**団結は力 見せよう組合の底力!**」 ～第68回中小企業団体全国大会が盛大に開催～



10月19日(水)、石川県金沢市「いしかわ総合スポーツセンター」において、第68回中小企業団体全国大会(主催:全国中小企業団体中央会・石川県中小企業団体中央会)が盛大に開催されました。

本大会は、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、全国約2万7千組合等の意見を総意として取りまとめ内外に広く表明するとともに、国等に対し中小企業の振興施策の強化を訴え、安定した中小企業の成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的に、毎年開催しているものです。

第68回目となる今大会は、『団結は力 見せよう組合の底力!』をテーマに、政府をはじめ中央関係機関や各政党代表などの来賓や本県から参加した36名を含む、全国より約2,500名が参加しました。

大会に先立ち、大村功作全国中央会会長は、「本大会を契機に、組合制度の原点である『相互扶助の精神』のもと、全国の約2万7千組合等の強固な団結の力と果たすべき役割を再確認するとともに、多くの中央会が創立60周年を迎えた折、中小企業組合等連携組織の専門支援機関

として、中小企業・小規模事業者の振興と発展に向けた新たな一歩を力強く踏み出すことを誓う。」と挨拶、山出保石川県中央会会長による開催地挨拶、谷本正憲石川県知事ならびに細田大造金沢市副市長による歓迎挨拶、松村祥史経済産業副大臣等来賓による祝辞の後議事に入り、森洋全国中央会副会長(神奈川県中央会会長)より決議案に関する意見発表が行われ、「**実感ある景気回復と中小企業の経営力の強化**」、「**地域を支える中小企業の生産性の向上**」にかかる**全14項目が決議されました**。さらに、本大会の意義を内外に表明するため、下荒隆晴石川県中小企業青年中央会会長より「**大会宣言**」を高らかに宣し、満場の拍手で採択されました。

その後、休憩をはさみ表彰式が執り行われ、本県からは、優良組合として秋田県商工振興協同組合(藤澤正義理事長・本会会長)ならびに組合功労者として佐藤政則氏(秋田県花卉小売商業協同組合・本会理事)がそれぞれ全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞しました。

なお、来年の第69回中小企業団体全国大会は、平成29年10月26日(木)に長野県松本市において開催される予定となっています。

－第68回中小企業団体全国大会決議(概要)－

我が国の景況は、人口減少・超高齢社会等の構造要因による需要減少に加え、地震等の自然災害の多発、英国のEU離脱の決定や中国市場の成長の減速などのリスクが懸念されており、その先行きは予断を許さない状況にある。

人出不足が深刻化し、個人消費や国内投資が力強さを欠き、地域においては景気の腰折れ感が見られる中、地域の雇用を支える中小・小規模事業者は、連携・組織化を通じて自立化を図り、本業の稼ぐ力を強化することが求められている。

中小企業団体中央会は、組合等連携組織の力をもって、中小・小規模事業者の労働生産性向上の底上げを実現する。そのために、私達は、事業分野別に経営力向上を図るなどきめ細かな支援活動を多面的に展開していく。

国等は、そのための後押しとなるよう本決議事項の実現に取り組まれない。

【Ⅰ. 実感ある景気回復と中小企業の経営力の強化】

1. 国内需要の喚起と中小企業の経営力の強化
2. 中小企業組合制度等の改善・充実、中央会支援体制の強化
3. TPP対応、海外展開の推進
4. 公正な競争環境に向けた独禁法等の執行強化
5. 官公需対策による経営支援の強化
6. 熊本地震・東日本大震災等からの復興の加速化

【Ⅱ. 地域を支える中小企業の生産性の向上】

1. 中小企業に対する金融政策の拡充
2. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用対策の推進
3. 卸売・小売業、物流、サービス業の生産性向上
4. まちづくり・商業集積の強化、商取引の適正化
5. 中小製造業等の持続的発展の推進
6. 中小企業における職業能力開発の推進
7. 中小企業における職業能力開発の推進
8. 社会保障制度の見直し

第68回全国大会 受賞おめでとうございます

【優良組合】



秋田県商工振興協同組合
(理事長 藤澤 正義 氏)

【組合功労者】



佐藤 政則 氏
(秋田県花卉小売商業協同組合 理事長)



[総代として優良組合表彰を受賞する藤澤理事長(右)]



[本県から参加された皆様]

全12団体が「市立秋田総合病院改築工事」に係る要望書を提出

平成26年4月に地方独立行政法人の運営に移行した「市立秋田総合病院」は、建築後30年以上が経過し、改築に向けた基本構想・施設整備計画が検討されています。

このため、全10の業界団体に加え、本会ならびに秋田県官公需受注対策協議会(加藤憲成会長)が後援団体となり、市立秋田総合病院の改築工事に関する要望を行いました。

10月7日(金)、業界団体を代表し、秋田県型枠工事業協同組合(伊藤徹理事長)、秋田県生コンクリート協同組合(佐々木鉄美理事長)、秋田県鉄筋工事業協同組合(船橋文隆理事長)等が秋田市役所ならびに市立秋田総合病院を訪れ、穂積志秋田市長、渡辺正宏秋田市議会議長、小松眞史市立秋田総合病院理事長に対しそれぞれ要望書を手交し、多くの地元中小企業者が

工事に携われるよう、建物の構造を「鉄筋コンクリート造」とすること、専門工事業者については、地元中小企業者の参入を優先して頂くよう要望しました。

要望にあたり伊藤理事長は、耐震性など鉄筋コンクリート造の優位性を説明した上で、「本県における中堅・若手技能者不足は深刻な問題であり、技能者の地元雇用を活性化していく観点からも、今回の要望内容を基本設計の段階から採用してほしい。」と述べました。

これに対し、穂積市長、渡辺議長ならびに小松理事長からは、「現時点で、入札方法を含め工事計画の詳細は白紙の状態だが、今回の要望内容をきちんと心に留め、工事を計画していきたい。」などといった前向きな回答を頂きました。



[穂積市長(左)へ要望]



[渡辺議長(右)へ要望]



[小松理事長(左)へ要望]

2017年 新春経営トップセミナーのご案内

本会主催の新春経営トップセミナーを、下記の日時に開催致します。
会員組合の皆様からの多数のご参加をお待ちしております。

○テーマ 『報道現場から見た日本経済の実像 ～地方から日本を変える～』

○講師 フジテレビジョン 上席解説委員
平井 文夫(ひらい ふみお)氏

○開催日時 平成29年1月18日(水)
・セミナー：午後3時～
・賀詞交歓会：午後5時～

○開催場所 ホテルメトロポリタン秋田
(秋田市中通七丁目2番1号)

～講師プロフィール～

1959年生まれ、長崎県出身。立命館大学経済学部を卒業後、フジテレビジョンへ入社。
入社後は報道局に配属となり、外信部記者、社会部記者、「スーパータイム」ディレクターとして、昭和天皇崩御やダイアナ英皇太子妃来日等、現場での取材に尽力。
その後、「ニュースJAPAN」、「スーパーニュース」プロデューサーを歴任し、現在は「新報道2001」をはじめ、各番組のコメンテーターとして活躍中。



景況レポート

(9月分・情報連絡員80名)

景況DI値が再び後退

【概況(全体)】

9月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが12.5%(前回調査13.8%)、「悪化」が36.3%(同36.3%)で、業界全体のDI値は-23.8となり、前月調査と比較し1.3ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業は前月に引き続き大幅に上回った。これは木材・木製品や鉄鋼・金属が好調に推移したほか、食料品の悪化割合が縮小したことによるものである。この結果、全体のDI値も全国及び東北・北海道ブロックを上回った。

【業界別の状況】

業界別では、繊維工業やサービス業などで景況感が後退した。このうち旅行業については、国内旅行は好調を維持しているが、海外旅行は低調に推移した。一方、食料品、卸売業では、業況の悪化割合が縮小した。なお、全体の景況感としては、依然として需要の減退や個人消費の低迷等により景気回復を実感できない状況が続いており、また、需給不調に起因する物価の急騰に加えて、人件費負担等の経営コストも増大していることから、中小企業の先行きは依然として予断を許さない状況にある。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-23.8	-29.9	-28.2
製 造 業	-15.7	-29.5	-24.8
非製造業	-29.2	-30.2	-30.2

<景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製 造 業						
非製造業						

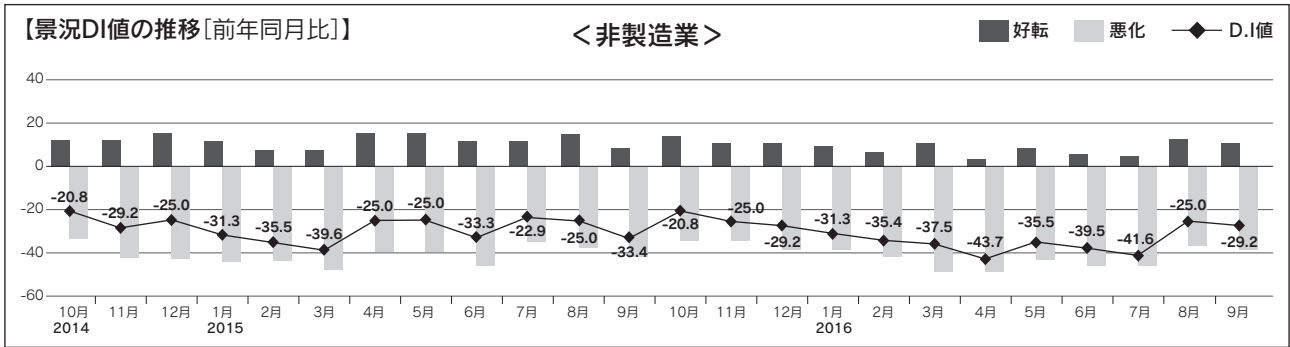
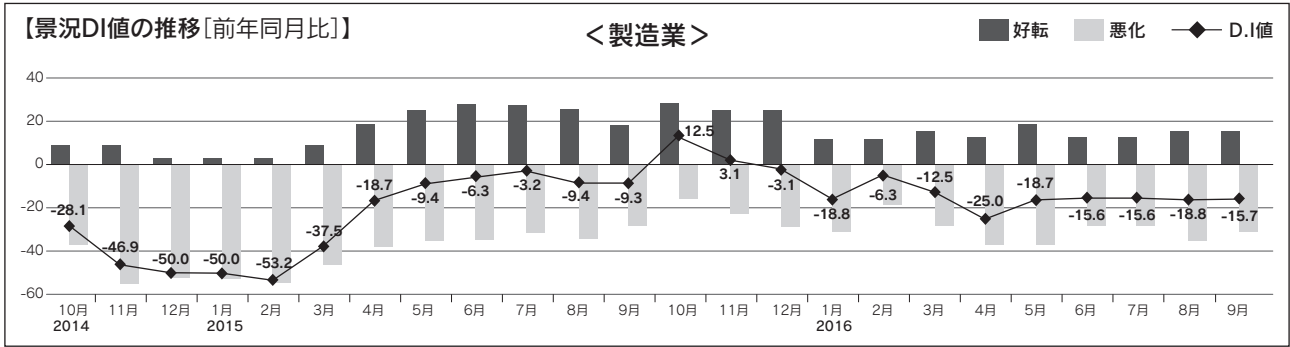
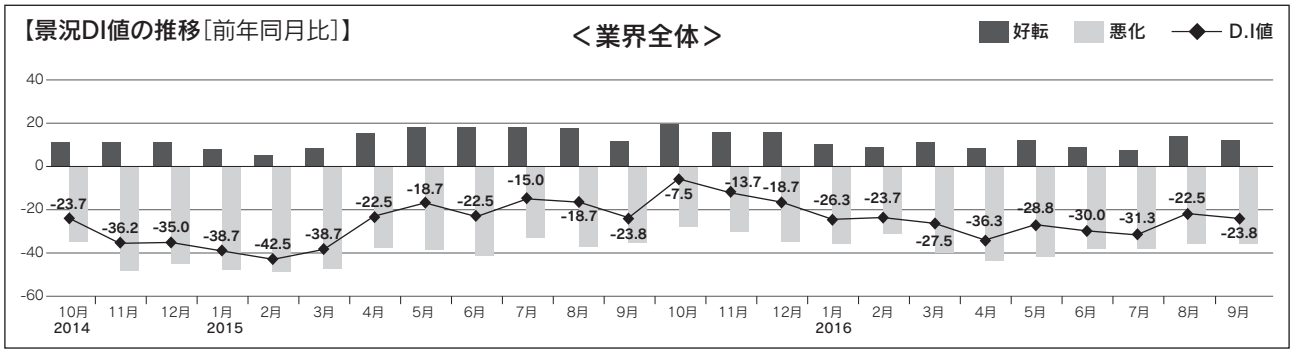
【凡例】 **【天気図の見方】** 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (菓子)	残暑が厳しく売上は思うように伸びなかったが、彼岸に入り、過ごしやすくなるにつれ回復傾向にある。
繊維工業 (ニット)	組合員企業各社とも、受注状況は前年並みを確保している。しかし、昨年の暖冬によりアパレルが在庫過多になっており、仕入調整に入った影響から、期中生産の発注が止まり始め、月末から来月にかけて一部生産ラインが空く事例も見られる。
繊維工業 (繊維)	店頭売上が低迷しており、受注量が減少傾向にある。(中央地区)
木材・木製品 (一般製材)	受注は前年並みに推移しているが、製品販売価格の引き下げ要請が強く、景気回復の気配は感じられない。(中央地区)
木材・木製品 (プレカット)	9月は住宅受注が好調であることに加え、畜産試験場などの受注もあり、前年並みの業績となっている。
印 刷	イベント等が減少したため、仕事の件数も減少傾向にある。(県南地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	9月の出荷数量は、前年同月比82.7%、4～9月の累計では前年比87.2%となった。大館北秋地区では、日治道工事の終了が近づいていることから、累計で前年比60%後半、秋田中央地区では累計で前年比70%後半と厳しい状況が続いている。
鉄鋼・金属 (機械金属)	前月に引き続き、各組合員企業とも受注が確保されており、業況は順調に推移している。
一般機器 (金属加工)	業況は、総じて活発に推移している。しかし、価格や納期等の取引条件は、依然として厳しい状況である。
その他の製造業 (曲げわっぱ)	弁当箱の売上は、依然として好調である。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 9月の売上は、前年同月比92.9%で推移した。台風や記録的大雨の被害により、野菜の品(青果卸) 薄で価格が高騰したため、売上は低迷した。

小売業 商品券の売上が前年同月比で増加した。(秋田市)
(ポイントカード)

小売業 季節外れながら、各店舗ともエアコンの売上が上乘せされ、前年同月比110%で推移(電機) した。

商店街 飲食業は、全体的に収益面で増減は感じられないが、他業種は全体的に減少傾向となっている。(秋田市)

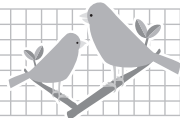
9月は、イベント等の開催もなかったため商店街は閑散としており、売上も依然として厳しい状況にある。(湯沢市)

サービス業 9月の売上は、前年同月比で国内旅行は125.8%、海外旅行は68.0%で推移した。国内(旅行) 旅行は依然として好調を維持しているが、海外旅行は低迷している。

建設業 住宅関係は平年並みに推移しており、春先と比べ景況は回復傾向にある。公共工事が依然として少ないものの、多忙となっている。(秋田市)

運輸業 新米の出荷も始まり、運送量は回復傾向にある。しかし、改善基準(労働時間制限) 遵守のため、経費(高速料金、人件費等)が増加している。(中央地区)

その他の非製造業 成瀬ダム工事関係により、骨材が昨年より20%増加となった。(県南地区)
(砂利採取)



中央会事業より

オール秋田で「いぶりがっこ」の認知度向上を目指す

～組合連携コーディネート事業を開催～

本会では、県内のいぶりがっこ製造業者や行政機関が一丸となり、オール秋田でいぶりがっこの認知度やブランド力の向上、生産・流通の拡大に繋げるため、「組合連携コーディネート事業」を実施しています。

10月4日(火)、横手市の「横手セントラルホテル」で第3回懇談会が開催され、秋田いぶりがっこ協同組合(鈴木辰美理事長)、秋田県漬物協同組合(木村養市理事長)をはじめとする製造業者や行政関係者など28名が出席しました。

懇談会では、いぶりがっこのブランド化に向けいち早く「地理的表示(GI)保護制度」(以下「GI制度」という。)の申請に取り組めるよう、商品名や使用原料、生産方法・製法などの基準内容について意見が交わされました。

当事業では今後、基準内容を具体的に精査しGI制度の申請に向けた協議を進めていくとともに、共同でいぶりがっこの品質向上や技術の研鑽、認知度の向上、生産・販路拡大等を

図るための組織として「秋田県いぶりがっこ振興協議会」を設立し、引き続き今後の取組みについて意見交換を行っていくこととしています。

—地理的表示(GI)保護制度とは—

地域には長年培われた特別の生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性により、高い品質と評価を獲得するに至った産品が多く存在しています。これら産品の名称(地理的表示)を知的財産として保護する制度が「地理的表示(GI)保護制度」です。



[懇談会の様子]

経営戦略の策定・実行のポイントを学ぶ

～スキルアップセミナーを開催～

10月18日(火)、秋田市の「秋田県青少年交流センターユースパル」において、最終回となる第3回スキルアップセミナーを開催し、組合役職員等14名が出席しました。

今回のセミナーでは、前回までに学んだSWOT分析による組合の現状把握や経営ビジョン設定の手法を踏まえ、戦略策定の手法及び実行のポイントを学びました。

講師を務めた有限会社ジー・エフ・シーの佐藤善友社長は、「SWOT分析により組合の現状を様々な角度から『因数分解』し、目的達成のためにその因果関係を利用し要因をコントロールするのが『経営』であり、要因をコントロールするシナリオが『経営戦略』である。」と経営戦略の策定に至るまでのステップを強調され、出席者は戦略(実行項目)を洗い出し、4つの視点(財務、顧客、内部プロセス、学習と成長)に基づき経営戦略を策定していく手法を実践しました。

出席者からは、「組合の課題に対する今後の取り組みの方向性が見えた。」「売上拡大や顧客満足度向上を図るための事業計画を策定する際には是非取り入れていきたい。」といった意見が聞かれ、今後の組合・企業運営に大いに参考となるセミナーとなりました。

本会では今後も、組合役職員の資質向上を通じ、組合活性化に結びつけるための支援を引き続き行ってまいります。

—戦略(実行項目)洗い出しのための4つの視点—

- ① **財務的視点**
財務的にどのような行動を取るべきか？
また、利害関係者に対しどのような行動を取るべきか？
- ② **顧客の視点**
戦略とビジョン、財務的な事項を達成するために、顧客に対しどのような行動を取るべきか？
また、顧客満足度を高めるにはどのような行動を起こすべきか？
- ③ **内部プロセスの視点**
顧客と財務的視点を満足させるためには、どのような内部体制を作り上げる必要があるか？
- ④ **学習と成長の視点**
戦略を達成するために、どのようにして変化を促す人材を確保するのか？



[セミナーの様子]

リサイクルパーツの商品付加価値向上のための方策を研究

～青年部研究会事業を開催(秋田県自動車解体処理協同組合 青年部)～

自動車の新車販売台数の減少や保有期間の長期化に加え、高張力鋼板や合金の採用により、自動車解体処理業界は在庫台数の減少と鉄スクラップ価格の低迷という二重苦に直面しています。

そこで、秋田県自動車解体処理協同組合青年部(小野寺徳仁部長)では、リサイクル率及びリサイクルパーツの商品付加価値を向上させるための方策を研究するため、10月21日(金)、秋田市の「秋田キャッスルホテル」において青年部研究会事業を開催し、会員等10名が出席しました。

講師を務めた株式会社東部環境(宮城県)の熊谷博之部長からは、廃タイヤの回収・引取の後、カットタイヤを製造しリサイクル製品を製紙工場等へサーマルリサイクル(熱源利用リサイクル)として出荷している事例とともに、廃タイヤ処理での自治体との連携した取組が紹介されました。

熊谷部長は、「有効な資源の再利用化により、地球環境保全の推進と汚染の予防に貢献

していきたい。」と今後の抱負を述べられ、出席者にとっては、収益性向上のために自社のリサイクル過程を見直し、新たな発想を見出す手がかりを得ることができました。

当青年部では当事業の実施を契機に、会員企業の収益性向上に向けた取組について、引き続き研究していくこととしています。



[研究会の様子]

秋晴れの下 自慢の腕を競い合う

～第20回中小企業団体ゴルフ大会を開催～

9月30日(金)、秋田市の「秋田カントリー倶楽部」において、第20回中小企業団体ゴルフ大会を開催しました。

本大会は、本会会員ならびに関係機関相互の交流促進を目的に毎年開催しており、今年も多くの会員組合及び企業の皆様より協賛を頂きました。

前日まで悪天候であったため、当日のコンディションが心配されましたが、当日は秋晴れの下、県内各地から参加した38名が自慢の腕を競い合いました。

大会の結果、男鹿南秋生コンクリート協同組合の森田真澄理事長が、ネット69.6で優勝し、プレー終了後の表彰式では、参加者同士がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。



[プレーの様子]

[結果]

- 優勝 森田 真澄 氏
(男鹿南秋生コンクリート協同組合)
- 準優勝 鳥居 史郎 氏
(秋田県農業機械商業協同組合)
- 第3位 佐々木 宏行 氏
(秋田県ハイヤー協同組合)
- BG賞 森田 真澄 氏 72
(男鹿南秋生コンクリート協同組合)



[優勝した森田理事長(左)と本会藤澤会長]

■「組合イメージキャラクター」を制作

(能代白神リサイクル協同組合)

能代市より、一般廃棄物の収集運搬をはじめ再生資源や粗大ゴミの拠点回収、処理センターの運営・管理業務を受注し活動している能代白神リサイクル協同組合(佐藤和人理事長)は、居住地域の広がりによりゴミステーションの数が年々増加している中で、若い子育て世帯を中心にゴミの分別の啓蒙普及を図ることを目的に、この度、新たに「組合イメージキャラクター」を制作しました。

このキャラクターは、「ゴミ」という概念のクリーン化を図り、子供から大人まで幅広い年代の方々にごみの分別・リサイクル等に一層関心をもってもらいたいというコンセプトで制作され、メインキャラクターである「わけるくん」をはじめ、資源物を擬人化した5つのサブキャラクターを分別隊(①古紙:「コッシー」、②瓶:「ビンゴロー」、③ゴミ袋:「ゴミンちゃん」、④缶:「カン平くん」、⑤ペットボトル:「ペット」)として、キャラクターを収集車にラッピングしPRを図ることとしており、ゴミの分別の啓蒙普及に加え、作業員も常に「見られている」ことを意識し、安全運転と市民サービスの一層の向上につなげることを狙いとしています。

佐藤理事長は、「若い子育て世帯は、子育てに追われ資源物の分別まで気が回らないのが現状ではないかと思い、子供たちが興味を引くキャラクターであればゴミの分別に一層関心をもってもらえると考え、イメージキャラクターを考案した。ゴミの収集業務には遅滞は許されず、肉体的にもきつい業務だが、今後も能代市民の信頼を得られるよう組合事業を推進していきたい。」と、今後の事業推進に向け抱負を述べられました。



[収集車にラッピングしたキャラクター]

支援団体活動レポート

秋田杉末利用材を活用した商品開発事例を研究

～平成28年度研修会が開催(あきたレディース中央会)～

9月27日(火)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において、あきたレディース中央会(藤原恵美子会長)の平成28年度研修会が開催され、会員等13名が出席しました。

研修会では、アトリエアンダンテ(秋田市)の佐藤智子代表より、これまで目を向けられなかった秋田杉の「杉の葉」に着目し、健康面においても効用がある精油(エッセンシャルオイル)を商品開発するに至った経緯や事業化のポイント・課題について講話がありました。

佐藤代表からは、「『香り』は記憶と密接な関係があり、高齢者にとっては記憶を取り戻すことは自信を取り戻すことにも繋がるため、今後は介護現場での活用も考えていきたい。また、県内で精油の製造が出来るよう、様々な機関と連携の範囲を広げていきたい。」と今後の抱負を述べられ、出席者にとっては、秋田杉の魅力の再発見や心身への効能という女性ならではの商品開発の視点を学ぶことができた研修会となりました。

また、研修会終了後に開催された昼食交流会では、エッセンシャルオイルを実際に試香したほか、会員企業の取扱商品を含めた自己紹介を行うなど、交流を深めました。

当中央会では、今後も研修会の開催などにより、会員のビジネスチャンスの拡大や経営力の向上を目指していくこととしています。



[講師を務めた佐藤代表]

組合女性職員の資質向上と新たなネットワークづくりを目指す

～女性職員セミナーが開催(秋田県中小企業団体事務局協議会)～

本県の組合事務局に携わる女性職員は大変多く、組合における女性職員の役割はますます重要となってきています。

そこで、10月11日(火)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)による女性職員セミナーが開催され、本協議会の会員をはじめ中央会会員組合の女性役職員等18名が出席しました。

セミナーに先立ち、秋田県味噌醤油工業協同組合の京野信行専務理事より、当組合が全国に先駆け昭和53年から味噌のPR事業に取り組んできたことや、事業の効果により「味噌」が健康食品として定着してきたこと等が紹介されました。

セミナーでは、一杯の味噌汁プロジェクトの小山明子代表を講師に迎え、「みそからはじまる健康と食育」と題し、プロジェクトの立ち上げに至った経緯をはじめ、味噌の効能や食生活への取り入れ方などが紹介されました。

小山代表からは、「味噌は、様々な栄養をバランス良く含む食材だが、ごはんと一緒に組み合わせる

ことにより栄養バランスの整った完全食となる。味噌を上手に食事に取り入れることで、約2ヶ月で腸内環境も改善できる。本セミナーをきっかけに、自分や家族の食生活を見直し、健康な体を手に入れ、仕事も家庭も充実させてほしい。」と説明があり、参加者全員で、「味噌ボール(簡単で保存可能な味噌汁の素)」の作り方について実習するなど、本県の特産品である味噌を活用した健康づくり等について学びました。

当協議会では、今後も会員組合の事務局役職員の資質向上等を通じ、組合運営の円滑化や組合事業の活性化を図っていくこととしています。



[セミナーの様子]

新会長に佐々木繁治氏を選出

～平成28年度通常総会が開催(あきた工業団体連絡協議会)～

10月25日(火)、秋田市の「秋田ビューホテル」において、あきた工業団体連絡協議会の平成28年度通常総会が開催され、会員3団体から約40名が出席しました。

総会の開催に先立ち、「企業活動成果発表会」の表彰式が行われ、株式会社秋田新電元が最優秀賞(秋田県知事賞)を受賞したほか、東光鉄工株式会社ならびに日貿産業株式会社が優秀賞を受賞しました。

引き続き、総会では、平成27年度事業・決算報告並びに平成28年度事業計画・収支予算案及び規約の改正が満場異議なく原案どおり可決決定されました。

また、任期満了による役員改選では佐々木繁治氏(秋田県アパレル産業振興協議会名誉会長)が新会長に選出されたほか、副会長に藤澤正義氏(一般社団法人秋田県機械金属工業会会長:再任)、齊藤健悦氏(秋田県電子工業振興協議会会長:新任)がそれぞれ選出され、新設された名誉会長には前会長の須田精一氏(秋田県電子工業振興協議会名誉会長)が就任されました。

総会終了後には、コラボレーションセミナーが開催され、株式会社創造経営センター(東京都)の熊坂祐一リーダーより、市場(ボリューム)が縮小しボリュームを前提とした経営が厳しくなっている中で、経営者は今後如何に経営を

行い、社員をどのように確保・育成し社員1人あたりの付加価値を向上させていくべきかについて講話がなされ、参加者は熱心に聴講しました。

あきた工業団体連絡協議会では、今後も業種・業態の枠を超え、相互の交流を促進し、県内製造業における「ものづくり」基盤の強化を図る活動を積極的に行っていくこととしています。



[挨拶をする佐々木新会長]



[通常総会の様子]

「税を考える週間」について (国税庁)

国税庁では、租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めて頂くため、年間を通じて税に関する啓発活動を行っていますが、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、集中的に広報広聴施策を実施しています。

今年度は、「くらしを支える税」をテーマとし、税の役割や適正・公平な課税と徴収の実現に向けた取組のほか、社会保障・税番号(マイナンバー)制度の導入に関する情報や国税電子申告・納税システム(e-Tax)の更なる利便性の向上に向けた情報等を国税庁のホームページで紹介していますので、是非ご覧下さい。



[国税庁ホームページ]
<http://www.nta.go.jp/>

[税の役割と税務署の仕事]
<http://www.nta.go.jp/kohyo/katsudou/week/>

「あきた企業活性化センター 活用事例集」について (公益財団法人あきた企業活性化センター)

公益財団法人あきた企業活性化センターでは、県内の中小企業振興の中核的な支援機関として当センターが支援してきた事例の中から、情報誌「ビックあきた」2014年1月号から2016年8月号に掲載されたセンター活用事例を支援施策毎に取りまとめ、事例集として作成しました。

本事例集が、これから創業を志す皆様、経営革新等に取り組む企業の皆様にご活用いただければ幸いです。

※ 事例の掲載内容は、『ビックあきた』掲載当時のものとなっておりますので、ご容赦願います。

☎ 詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

[ホームページ]
<http://www.bic-akita.or.jp/news/155.html>

[お問い合わせ先]
公益財団法人あきた企業活性化センター
☎018-860-5603

労働保険(労災保険・雇用保険)の加入 手続きはお済みですか (秋田労働局)

11月は「労働保険適用促進強化期間」です。

労働保険(労災保険・雇用保険)は、農林水産業の一部を除き、労働者を1人以上使用する全ての事業主が加入することとなっています。

該当する場合は、事業主及び労働者の意向にかかわらず、法律上、当然加入の手続きを行うことが事業主の義務となっています。まだ加入されていない場合は、早急に最寄りの労働基準監督署かハローワーク(公共職業安定所)にご相談されますようご案内いたします。

ー労働保険とはー

労働者災害補償保険(一般に「労災保険」といいます。)と雇用保険の総称で、業務上災害と通勤途上災害に対する補償(労災保険)と、失業した場合の給付(雇用保険)などを行う制度です。

保険給付はそれぞれの保険制度で行われますが、保険料の納付については、労働保険として、原則的に一体のものとして取り扱われています。

[お問い合わせ先]
秋田労働局 総務部 労働保険徴収室
☎018-883-4267

特別相談窓口を開設します ー11月は連携組織強化月間ですー

本会では、毎年11月を連携組織強化月間と位置づけ、「特別相談窓口」を設置し、中小企業・小規模事業者が連携して事業を展開したり、個人が集まり自ら働く場を創造するために起業する企業組合制度を活用した創業等を積極的に支援いたしますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

[特別相談窓口 設置期間]
11月1日(火)～11月30日(水)

[お問い合わせ先]
本会 事業振興部(秋田市旭北錦町1番47号)
☎018-863-8701
大館支所(大館市御成町二丁目8番14号)
☎0186-43-1644
横手支所(横手市大町7番18号)
☎0182-32-0891

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 本多秀文
副理事長 松木文雄
" 太田博之

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



トワニー秋田

通商産業大臣認可50産第1784号
全日本葬祭業協同組合連合会加盟

秋田県葬祭業協同組合

〒014-0001 大仙市花館字常保寺91-3

TEL 0187-86-3530 FAX 0187-86-3531

ホームページ <http://www.towany.com>

葬祭・仏壇・仏具のご用命は
組合加盟店へどうぞ



保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜は SOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

秋田支店 法人支社

〒010-0921 秋田県秋田市大町 3-3-15

Tel.018(862)4463 <http://www.sjnk.co.jp>

保険とリース、相続・事業承継の ご相談はお気軽にどうぞ!!



保険&リース

株式会社

北日本ベストサポート

〒010-0967

秋田市高陽幸町8番17号

TEL.018-883-1888

FAX.018-883-1822

URL <http://www.knbs.jp>

全国中小企業団体中央会 会員の皆様へ
日本商工会議所 会員の皆様へ

業務災害補償制度



AKITA HOKEN

保険と暮らしの相談センター

URL <http://akitahoken.co.jp>

株式会社 アキホク保険

秋田本社

☎018-864-6921

〒010-0951 秋田市山王6丁目5-9

FAX : 018-864-6922

フレスポ
本荘店

☎0184-24-5511

〒015-0011 由利本荘市石脇字田頭141-1

FAX : 0184-24-5512

SJNK15-19728 (2016.3.30作成)

改訂 あきた郷味風土記

【販売価格】2,000円(税別)

●A4判116ページフルカラー

発行：秋田県農山漁村生活研究グループ協議会

「改訂あきた郷味風土記」は、県内書店、道の駅、
産地直売所にて販売しております。
詳しくは当社ホームページでご確認ください。



秋田市竿燈会監修 秋田竿燈まつり カレンダー 2017年版

好評
販売中!

【販売価格】

1,000円(本体926円+税)

●縦615×横305mm

●13枚綴(12カ月+表紙) ●フルカラー



秋田活版印刷株式会社

<http://www.kappan.co.jp/>

本社 ● 〒011-0901 秋田県秋田市寺内字三千刈110-1
東京営業所 ● 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-31-10-208

TEL.018-888-3500(代) TEL.03-5927-8101

FAX.018-888-3505 FAX.03-5927-8102



おかげさまで70周年

もう一工夫して、新たな時代へ

千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49 TEL 018(864)6200(代)

建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19 TEL 018(888)3666

URL：http://www.k-chiyoda.jp

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。

菜園倶楽部

クボタミニ耕うん機

菜園 Style 陽菜 Style

まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600

BEST PARTNER
三井生命

未来を描く、おてつだい。

未来は、来るものではなく、自分で描くもの。
私たちは、お客さまの長い人生を
いっしょに考え、サポートしていきます。

【秋田県中央会共済制度のお問い合わせは】

三井生命保険株式会社 秋田支社

〒010-0921 秋田県秋田市大町 1-3-8
http://www.mitsui-seimei.co.jp/

秋田営業部 TEL:018-863-1626

本荘支所 TEL:0184-23-2950

能代支所 TEL:0185-52-5351

大館営業部 TEL:0186-49-2459

大曲営業部 TEL:0187-62-1337

湯沢支所 TEL:0183-72-3230